

令和5年度事業報告書

社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業	2	9. ファミリー・サポート・センター事業	33
		(1) ファミリー・サポート・センター事業	33
2. 地域福祉事業	6	(2) 子育てホームヘルプ事業	36
(1) 地域福祉活動推進事業	6	10. 居宅介護支援事業	37
(2) 相談事業	8	11. 訪問介護事業	39
(3) 福祉バス管理運営事業	9	(1) 訪問介護事業	39
(4) 認知症サポーター養成講座事業	10	(2) 生活支援訪問事業	39
(5) 障害児長期休暇中預り事業	10	(3) その他訪問事業	40
(6) 自発的活動支援事業	11	12. 障害福祉サービス事業	41
(7) 生活支援体制整備事業	11	(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護)	41
(8) 三豊市こどもの居場所づくり事業	13	(2) 障害福祉サービス事業(行動援護)	41
3. 共同募金配分事業	15	13. 移動支援事業	42
(1) ボランティア活動推進事業	15	14. 高齢者デイサービスセンター事業	42
(2) 福祉普及啓発事業	17	15. 生活支援通所事業	43
(3) 居場所づくり推進事業	19	16. 高齢者生活福祉センター事業	43
(4) 広報啓発事業	20	17. 地域移動支援事業	43
(5) 社会福祉大会開催事業	21	18. その他事業	44
(6) 災害対策推進事業	22	(1) 老人クラブ連合会	44
(7) まるみプラン推進事業	23	(2) 共同募金事業	46
(8) 地域我が事・丸ごと推進事業	25	(3) 子育てボランティアみみちゃん	48
4. 生活福祉資金貸付事業	27	(4) フードバンク(ものバンク)事業	49
5. 福祉サービス利用援助事業	27	(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力	49
6. 法人成年後見等事業	29		
(1) 法人成年後見等事業	29		
(2) 市民後見人養成支援事業	30		
7. 生計困難者に対する相談支援事業	31		
8. 生活困窮者自立支援事業	31		
(1) 生活困窮者自立相談支援事業	31		
(2) 子どもの学習支援事業	32		
(3) 家計改善支援事業	32		
(4) 就労準備支援事業	33		

事業報告の概要

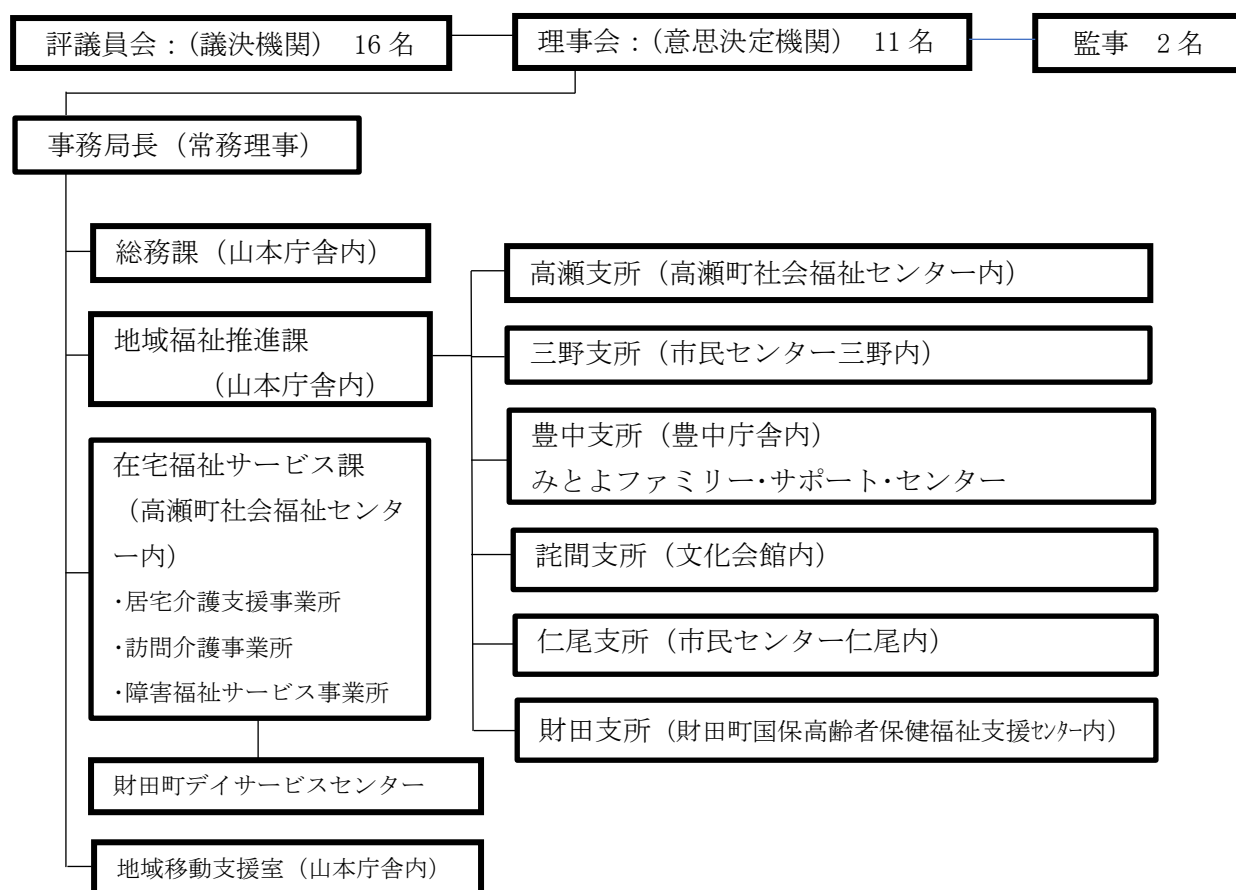
三豊市社会福祉協議会は、市民が住み慣れた地域でみんなが助け合い、一緒に支え合うことのできる暮らしやすい地域づくりをめざし、『くらし・こころ・みらい「豊かなまちづくり」』を基本理念に、地域の皆さま、行政、福祉関係者等と連携しつつ各事業の取り組みを進めてきました。

さらに、地域の“つながり”や“ささえ合い”が途切れることなく、お互いの暮らしを気かけ生きがいを持って暮らせるための第4期三豊市地域福祉活動計画、通称「まるみプラン」を基に会員や関係機関・団体をはじめ、企業やNPO等多様な主体とも連携・協働しながら、地域における見守り・助け合いを推進し、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現に取り組みました。

以下、令和5年度の具体的な事業実績等について報告します。

組織図・職員状況等

(令和6年3月31日現在)



【職員体系】 ※常勤職員数

事務系	・事務局長（市派遣） 1	・正職員 15	・有期雇用職員 12	・嘱託 1	・市派遣 1
介護系	・正職員 9	・有期雇用職員 5	・嘱託 5	合計 49 名	

1. 法人運営事業 事業費 102,772,351円

① 理事会・評議員会等の開催

<理事会>

開 催 日	議 事 等
第 81 回 令和 5 年 6 月 8 日 出席 理事 7 人 監事 2 人 欠席 理事 4 人	報告第 1 号 会長専決事項について 議案第 1 号 令和 4 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 4 年度収支決算について 議案第 3 号 令和 5 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 4 号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第 5 号 評議員選任候補者の推薦について 議案第 6 号 次期役員(理事・監事)候補者の選定について 議案第 7 号 第 67 回評議員会(定時評議員会)の招集について
第 82 回 6 月 23 日 出席 理事 9 人 監事 2 人 欠席 理事 2 人	報告第 1 号 第三者委員の委嘱について 議案第 1 号 会長、副会長、常務理事の選定について
第 83 回 9 月 27 日 出席 理事 11 人 監事 2 人	報告第 1 号 会長専決事項について 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和 5 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 職員就業規則の一部改正について 議案第 4 号 第 68 回評議員会の招集について
第 84 回 12 月 4 日 出席 理事 8 人 監事 2 人 欠席 理事 3 人	報告第 1 号 会長専決事項について 議案第 1 号 令和 5 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 第 69 回評議員会の招集について
第 85 回 令和 6 年 3 月 12 日 出席 理事 10 人 監事 1 人 欠席 理事 1 人 監事 1 人	報告第 1 号 会長専決事項について 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 令和 5 年度第 4 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 6 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 6 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の一部改正について 議案第 6 号 役員等賠償責任保険の契約について 議案第 7 号 第 70 回評議員会の招集について

<評議員会>

開 催 日	議 事 等
第 67 回 令和 5 年 6 月 23 日 出席 評議員 15 人 監事 2 人 欠席 評議員 1 人	議案第 1 号 令和 4 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 4 年度収支決算について 議案第 3 号 令和 5 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 4 号 次期役員(理事・監事)の選任について
第 68 回 10 月 10 日 出席 評議員 14 人 監事 2 人 欠席 評議員 2 人	議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和 5 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 職員就業規則の一部改正について
第 69 回 12 月 21 日 出席 評議員 14 人 監事 2 人 欠席 評議員 2 人	議案第 1 号 令和 5 年度第 3 次資金収支補正予算について
第 70 回 令和 6 年 3 月 25 日 出席 評議員 16 人 監事 2 人	議案第 1 号 令和 5 年度第 4 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 6 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 6 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の一部改正について

<監事会>

開 催 日	議 事 等
令和 5 年 5 月 25 日 出席 会長・監事 2 人	令和 4 年度事業報告について 令和 4 年度収支決算について

<評議員選任・解任委員会>

開 催 日	議 事 等
第 11 回 令和 5 年 6 月 8 日 出席 委員 4 人	評議員の選任について

② 役職員等研修会

役職員等が、三豊市社協は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることが重要なことから、県社協等が開催する研修会等に参加した。

開 催 日 等	内 容 等
令和 5 年 5 月 24 日 常務理事	令和 5 年度香川県内社会福祉協議会連絡協議会理事会(高松市)

令和 5 年 7 月 15 日 常務理事・監事 職員 2 名	令和 5 年度四国地域福祉実践セミナー in 香川・さぬき
令和 5 年 11 月 9 日 常務理事	香川県内社会福祉協議会役員等研修会(高松市)
令和 5 年 11 月 10 日 常務理事	香川県内社会福祉協議会第 12 回常務理事・事務局長等セミナー (高松市)
令和 5 年 4 月 27 日 職員 4 人	令和 5 年度社協職員基礎研修会
令和 6 年 1 月 19 日 職員 2 名	香川県内社会福祉協議会実践研究大会(高松市)
令和 6 年 2 月 6 日 職員 1 名	令和 5 年度第 2 回社会福祉連携協働セミナー(高松市)

③ 自主財源の確保

(ア) 会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等をお願いした。

- ・一般会費（一口 500 円）

令和 5 年度 16,842 戸 8,424,330 円

（令和 4 年度 17,087 戸 8,533,250 円）

- ・賛助会費（2,000 円以上）

令和 5 年度 41 件 240,000 円

（令和 4 年度 39 件 291,000 円）

※一般会費と賛助会費合計 8,664,330 円

<一般会費内訳>

地区	戸 数	実績額	地 区	戸 数	実績額
高瀬	3,785	1,892,500	詫間	3,736	1,865,580
山本	1,760	880,000	仁尾	1,611	795,250
三野	2,335	1,167,500	財田	1,018	509,000
豊中	2,597	1,314,500	市外	0	0
			合計	16,842	8,424,330

(イ) 社会福祉事業への香典返し等（寄附金・物品寄附）

寄附者の意に沿うよう「地区社協」の活動助成を行う等、地域福祉に関係する活動を支援した。

<寄附の内訳>

※（ ）内は前年度末

項 目	件 数	金 額
寄附金	25 (29)	1,374,437 (1,696,300)
物品寄附（車イス）	1 (1)	30,000 (30,000)
合 計	26 (30)	1,404,437 (1,726,300)

④ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金を交付した。

＜各地区社協の状況＞

24 地区社協 助成金総額 5,334,000 円

地区	地区社協	設立年月	主な活動内容
高瀬	勝間	S53.4	元気会、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布、福祉用備品設置等
	上高瀬	S46.4	元気会、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	二ノ宮	S53.4	元気会、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、年賀状配布、小学生による友愛訪問等
	比地二	S53.4	元気会、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布、福祉用備品設置等
	麻	S47.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布、福祉用備品設置等
山本	辻	H19.3	ぼだい山登山、防災研修、敬老会、高齢者等訪問、しめ縄作り、交通安全教室、奉仕活動、ウォーキング、地区社協だより等
	河内	H19.3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、自主防と共催での研修活動、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	財田大野	H19.3	三世代交流活動、ウォーキング、防災講習、寄せ植え、凧揚げ大会、敬老会、高齢者等訪問、知行寺山実態調査、しめ縄作り、地区社協だより等
	神田	H19.3	役員研修旅行、秋の野山を歩こう、立石山登山、男性料理講習、ウォーキング(宝山湖・お花見)、敬老会、高齢者訪問、自主防災講演会、地区社協だより等
三野	下高瀬	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動、下小モーニング、三野地区まるみプラン活動等
	吉津	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動、三野地区まるみプラン活動等
	大見	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動、三野地区まるみプラン活動等
豊中	桑山	H17.12	高齢者訪問、施設訪問、まるみウォーキング運営支援(事業中止の為、準備と片付けのみ)、子ども見守り隊活動等
	比地大	H17.8	安全パトロール、ひとり暮らし高齢者等訪問、サロン支援、まるみウォーキング運営支援(事業中止の為、準備と片付けのみ)、福祉だより発行等
	笠田	H18.2	地域づくり講演会、ひとり暮らし高齢者訪問、まるみウォーキング運営支援(事業中止の為、準備と片付けのみ)

			み)等
	上高野	H18.5	配食サービス、福祉推進月例会、まるみウォーキング運営支援(事業中止の為、準備と片付けのみ)、ちくわだより発行等
	本山	H17.8	友愛訪問、高齢者訪問、敬老会、まるみウォーキング運営支援(事業中止の為、準備と片付けのみ)等
詫間	松崎	H21.1	見守り活動、ふれあい会食、サロン支援、地区史編さん、里山ハイキング、敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力等
	詫間	S42.3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、防災フェスタ協力等
	大浜	S42.3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力等
	箱浦	H21.4	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、海浜清掃活動協力等
	栗島・志々島	S42.3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、防災フェスタ協力、海浜清掃活動協力等
仁尾	仁尾	H18.6	敬老会(訪問・安否確認)、福祉ポスター募集・展示、サロン支援、見守り活動、三世代交流ペタンク会場環境整備(地区地域福祉活動計画実行委員会応援)
財田	財田	H18.11	高齢者配食サービス(おはぎ、弁当) 役員研修、高齢者と年賀状交流(小学生に依頼)

2. 地域福祉事業 事業費 9,358,830円

(1) 地域福祉活動推進事業 事業費 2,211,210円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員等を設置している6地区社協に対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

地区(設置地区社協)	人数	助成額	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	地域の見守り 元気会やサロンの補助等
二ノ宮地区社協	7	14,000	
上高瀬地区社協	9	18,000	
勝間地区社協	11	22,000	
比地二地区社協	8	16,000	
豊中地区			
上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロンの補助等
合計	86	172,000	

② こんにちはコール

ひとり暮らし高齢者等に、電話訪問員(ボランティア)が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的に実施した。

○実施内容

月 2 回 (第 2・4 水曜) ボランティアゆうゆうの会により本所(山本)にて実施

月 2 回 (第 1・3 水曜) 民生委員・児童委員により財田にて実施

○利用者数 ゆうゆうの会 10 人、財田地区 3 人 計 13 人

③ 緊急医療情報キット (まるみちゃん安心キット) の設置

緊急医療情報キットの設置は、主にひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行うため、かかりつけ医・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器(キット)に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的に実施した。

民生委員・児童委員の協力により新たに必要とする方へ設置し、併せて年 1 回(年度始め)の更新を実施した。また、消防署より年度内の安心キット活用事例について情報提供を頂き、普及啓発に努めた。

<キット設置状況>

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	合計
区分	①	7	5	9	10	25	9	4	69
	②	0	0	2	8	13	0	0	23
	③	0	2	0	0	5	1	1	9
	④	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0
年度内設置計		7	7	11	18	43	10	5	101
年度末設置世帯		113	65	61	54	195	101	38	627
年度末登録人数		120	70	104	64	229	113	46	746

【区分】 ① 65 歳以上の者のひとり暮らし世帯

② 65 歳以上の者のみで構成されている世帯 (高齢者世帯)

③ 65 歳以上の者が含まれる世帯 (高齢者同居世帯)

④ 障がいのあるひとり暮らし世帯

⑤ その他

④ 福祉器具貸出

車イス：年度末現在 90 台所有

(内、市民への貸出可能台数 61 台、施設等常設 20 台、デイサービス専用 9 台)

<車イス貸出件数>

高瀬地区	34	詫間地区	15
山本地区	12	仁尾地区	12
三野地区	12	財田地区	9
豊中地区	9	合 計	103

・その他、高齢者疑似体験セット、歩行器、スロープ、松葉杖の貸出を実施した。

⑤ チャイルドシート・ジュニアシート、ベビーバス貸出

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等(里帰り・帰省時)に係る経済的な負担や、乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に実施した。

<月別利用者数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
シート	7	2	1	7	9	3	7	8	10	1	4	10	69
ベビーバス	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	6

⑥ 実習生受入事業

社会福祉士養成校より社会福祉士 実習生 2 人を受入れ予定だったが、実習生の都合によりキャンセルとなった。

本会の実習受入体制の充実に向け、職員 2 名が『社会福祉士 実習指導者講習会』(令和 5 年 8 月 21 日～令和 5 年 8 月 22 日の 2 日間)を受講し、指導に必要な研修を修了した。

(2) 相談事業 事業費 1, 634, 872 円

地域住民の生活課題の解決に向け、日常生活に関する悩みや問題に対する「心配ごと相談」、法律に関する「法律相談」及び「社協電話相談」を開催した。

① 心配ごと相談

生活課題を早期発見することを目的として、民生委員・児童委員が地域住民の相談に応じた。

また、必要に応じて各支援機関や専門員と連携を図った。

<相談状況等>

相談：各支所毎月 1 回(第 3 水曜日)開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	2	5	苦情
山本	3	4	家族
三野	3	4	その他(借金、気分転換、近所のトラブル、相続)
豊中	2	3	障害児(者)福祉
詫間	3	2	健康・保健衛生
仁尾	3	2	医療
財田	9	2	精神保健
合計	25	2	財産
		2	高齢者福祉
		2	住宅
		1	人権・法律
		1	子育て
		30	合 計

※相談分累計は、相談内容ごとの集計にて相談件数と一致しない

② 法律相談

地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に、法律の知識を要するものについて、香川弁護士会と連携し、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けた。

<相談状況等>

相談：毎月3回(第1・2・3火曜日)開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	25	67	財産（相続・遺言）
山本	27	35	人権・法律
三野	24	23	その他（金銭問題、行政指導について、不動産）
豊中	25	21	家族
詫間	21	15	結婚・離婚
仁尾	25	8	事故
財田	24	7	住宅
合計	171	6	職業・生業
		3	生計
		3	苦情
		2	子育て
		1	医療
		1	精神保健
		1	母子・父子保健
		193	合計

※相談分累計は、相談内容ごとの集計にて相談件数と一致しない。

③ 社協電話相談

社協ふくし相談を社協電話相談に名称を変更し社協職員が電話で相談を受けて地域の課題や生活課題の早期発見と課題解決に繋げた。

<相談状況等>

地区	相談件数	相談分類計	主な相談内容
本所（合計）	5	3	高齢者福祉
		1	家族
		1	財産
		1	ボランティア
		1	その他（本人の居場所、行き先の不安）
		7	合計

（３）福祉バス管理運営事業

事業費 1, 268, 415円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び、社会福祉活動への住民参加のための援助を目的として福祉バスを運行した。

<月別運行状況> 令和6年3月末現在 利用登録団体：127団体 登録運転手3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行回数	4	1	5	5	1	4	6	11	7	1	2	6	53
延利用者数	71	19	88	76	16	74	101	201	129	16	37	83	911

※福祉バス（平成17年1月登録：乗車定員25人）

（参考）R4年度：運行回数30回、延べ利用人数395人

（４）認知症サポーター養成講座事業（三豊市受託事業）事業費 10,367円

地域で認知症についての正しい理解や接し方について、知識を深める取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を開催した。

小学校では、認知症に係る寸劇に児童や担任の先生も参加をお願いすることで、より認知症の理解を深めることができた。また、市主催のキャラバンメイトの会に参加した。

<養成講座>

開催日	受講先	受講人数（サポーター数）
令和5年6月5日	勝間小学校5年生	25
6月19日	山本小学校5年1組	29
6月19日	山本小学校5年2組	27
6月26日	本山小学校5年生	23
6月28日	笠田小学校6年生	17
6月30日	上高瀬小学校6年1組	23
6月27日	上高瀬小学校6年2組	22
8月9日	詫間町松崎地区社会福祉協議会 見守り協力員	7
9月21日	下高瀬小学校6年生	38
10月16日	比地大小学校6年生	24
10月26日	市民向け養成講座	6
11月16日	桑山小学校5年生	23
11月21日	株式会社ヤクルト販売所三豊出張所	14
11月24日	松崎小学校6年生	19
令和6年1月12日	麻小学校6年生	14
1月15日	吉津小学校5年生	29
1月29日	財田小学校5年生	24
1月30日	財田小学校6年生	23
●団体、グループ：2回（2団体） ●小学校：15回（12校）		合計 387

（５）障害児長期休暇中預り事業（三豊市受託事業）事業終了

三観自立支援協議会にてR5年度より事業終了を決定した。

（６）自発的活動支援事業（三豊市受託事業） 事業費 72,096円

障がい者及び障がい児が自立した生活を営むことができるよう、当事者やその家族、地域住民等による地域における自発的な取組を支援し、共生社会の実現を図り、今後の障がい者支援を充実させていくために、関係機関や地域のボランティアが集い、理解を深め、支援のあり方について共に学び合うことを目的に開催した。

<研修会>

開催日／開催場所	テーマ／講師	参加人数
令和5年12月11日 みとよ未来創造館大ホール	テーマ「発達障がい者(児)の地域における自立支援について」 講師：香川県発達障害者支援センターアルプス かがわ 新井 隆俊 氏	27

（７）生活支援体制整備事業（三豊市受託事業） 事業費 1,774,384円

介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施のため、高齢者の困りごとを解決していくことや、子ども、障がいのある人も含め福祉制度の分野にかかわらず“支援を必要とする全ての住民が、より暮らしやすい地域の支え合いのしくみづくり”を推進していくことを目的に実施した。また、この事業について職員間で共通認識を持つため、毎月定期的に地区担当職員(第2層生活支援コーディネーター)間で意見交換や協議を重ね、中学校区に計7地区の第2層協議体が情報共有や協議を重ねている。

①資源開発

介護予防ボランティアフォローアップ講座を実施し、地域の担い手の確保と社会参加のきっかけ作りを行った。

<介護予防ボランティアフォローアップ講座>

開催日／開催場所	内 容	受講人数
【南部会場】 令和6年2月13日 財田町公民館大会議室	ボランティア活動を行うために運動・身体活動ができること～そうか なるほど 運動を始める 続けるコツ～ 四国学院大学社会学部 教授 片山昭彦 氏	17
【北部会場】 令和6年2月14日 市民センター仁尾2F 多目的ホール	同上	14
合計	2カ所	31

②ネットワークづくり

日常生活圏域において、多様な日常生活上の生活体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に、各地域の住民等による情報共有・話し合いを行った。

各地区に配置されている地区担当職員(第2層生活支援コーディネーター)が定期的に集まり情報共有や地区ごとの進め方等について協議を重ねた。

<第2層協議体>

地区・協議体名	開催日	参加人数
高瀬地区協議体「朝日の会」	令和5年4月26日	5
	5月31日	4
	6月28日	4
	7月27日	4
	8月30日	5
	9月27日	5
	10月26日	6
	12月20日	5
	令和6年2月21日	6
山本地区協議体「どんぐりの会」	令和5年4月10日	11
	5月8日	8
	6月12日	10
	7月3日	6
	8月7日	12
	9月4日	8
	10月2日	10
	11月6日	10
	12月4日	8
	令和6年1月15日	13
	2月5日	9
	3月4日	9
三野地区協議体「福祉のまちづくり会みの」他	8月28日	6
	8月27日	6
	9月26日	18
	10月23日	2
	12月9日	8
	令和6年3月18日	11
豊中地区協議体「とよなかタイム」	令和5年5月26日	19
	9月19日	17
詫間地区協議体	令和5年5月24日	7
	6月22日	8
	7月26日	7
	8月30日	7
	9月25日	10
	10月30日	8
	11月22日	5
	12月20日	6

	令和6年 1月31日	7
	2月29日	7
	3月27日	8
仁尾地区協議体	令和5年 4月28日	2
	5月26日	5
	6月23日	5
	7月28日	6
	8月25日	5
	9月22日	6
	10月27日	6
	令和6年 1月26日	7
	3月22日	6
財田地区協議体「もっこくの会」	令和5年 4月18日	5
	5月9日	12
	6月27日	5
	7月25日	7
	8月29日	4
	9月19日	8
	10月17日	4
	11月21日	4
	12月21日	3
	令和6年 1月25日	4
	2月22日	4
	3月28日	2

<地区担当者会>

開催日	参加人数	開催日	参加人数
令和5年 4月3日	7	10月6日	7
5月1日	7	11月1日	7
6月6日	7	12月1日	7
7月4日	7	令和6年 1月4日	7
8月1日	7	2月1日	7
9月1日	7	3月5日	7

(8) 三豊市こどもの居場所づくり事業（三豊市受託事業）

事業費 2,387,486円

市内のこども食堂やその他、こどもの居場所づくりに関わる団体等とのネットワークを構築し、横のつながりによる活動の広がりや情報共有を深めるためネットワーク会議を実施した。また、継続的な事業となるよう、随時相談・支援活動の実施、こども食堂等の活動に必要な食材の提供や、情報の共有を図るとともに助成金の交付を行った。

<事業内容>

① こどもの居場所づくりに関わる団体への相談・支援活動内容		活動件数
相談・支援活動の状況	相談・支援窓口の設置	225 ※内相談件数 181 ※その他対応件数
	こどもの居場所づくり専用ホームページの運営	随時
	食材、物品提供の分配	326
	外部助成金、研修会等情報提供	119
	合 計	670
	助成金交付実績 9 団体 合計 980,000 円	

② ネットワーク会議の会員向け勉強会（交流会）の開催

	ネットワーク会議	開催日	内容 / 講師	参加者数
開催状況	三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議	9/22(金)	① 第1回三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議 (たからだの里 環の湯)	19 名
		11/30(木)	② 第2回三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議 (こどもサニーハウス)	12 名
		2/15(木)	③ 第3回三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議 (三豊市民交流センター)	35 名

③ 農業生産者、小売り業者等提供活動者との連携

マッチング・協議件	大西柄物製作所、コープ観音寺店、ゆめタウン三豊店、松本光春商店他		44 件
登録会員数 令和6年3月	運営会員	団体 13	合計 30 個人/団体
	応援会員	個人 6、団体 11	

④ その他

情報提供	発行物：広報紙（社協しちふく）	
	ホームページへの掲載 (社協内専用ホームページ、全国こども食堂支援センター・むすびえ)	
フードドライブ	コープ観音寺店にて6月にフードドライブを実施し、集まった食品を三豊市こどもの居場所づくり事業の活動に寄贈いただき、市内こどもの居場所団体に分配した。 また、ファミマフードドライブに加え、ゆめタウン三豊店と新たに契約を取り交わし、集められた食品を市内こどもの居場所等へ分配した。	

金銭管理 ワークショップ	香川県子どもの未来応援ネットワーク事業金銭教育ワークショップ検討会(全6回)メンバーとして、県教育関係者、金融機関、大学生、県内こどもの居場所団体等と、「こどもの金銭管理」について協議し、オリジナルのカードゲームを作成した。 市内ショッピングモールで子育てイベントを開催した際、金銭管理について考えるきっかけづくりとして、小学生向けに金銭管理ワークショップならびに買い物体験を実施した。 市内(三野町、高瀬町)で小学生を対象に、ボランティア団体、NPO法人と協働し、夏休み中の「子ども寺子屋」、「学童保育」にて出前講座を行った。 また、市内中学校より資材活用申出を受け提供した。
-----------------	---

3. 共同募金配分事業 事業費 10,351,106円

(1) ボランティア活動推進事業 事業費 380,682円

ボランティア活動の推進や地域活動者の人材育成に向け、学生を対象とした「チャレンジボランティア講座」、また、住民に福祉に関する理解や関心を深め、ボランティア活動促進やきっかけづくりとして「ふくしセミナー」を開催した。ボランティア活動希望者へ紹介を行った。

<夏のチャレンジボランティア 2023> (対象：三観地区 5 高校・市内 7 中学校の生徒)
参加実績 12 校 76 人 (延 104 人参加)

	コース名 (協力団体)	開催日	参加人数
1	ボランティア入門講座 (三豊市ボランティアセンター/三豊市社協)	7/24(月)	4
2	高齢者配食見守りボランティア (みのむつみ会・PAS ボランティア・みの元気塾)	8/18(金)	3
3	こすもす広場ボランティア (こすもす広場)	7/28(金)	10
4	オレンジかふえボランティア (オレンジかふえなごみ)	8/18(金)	6
5	100 円モーニングボランティア (ボランティアはなみずき)	7/26(水)	(2) ※専門学校生
6	100 円モーニングボランティア (ボランティアはなみずき)	8/23(水)	6
7	街角喫茶ボランティア (上高野街角喫茶)	8/7(月)	3
8	防災チャレンジ教室ボランティア (大見地区社協・公民館大見分館・三野町公民館)	8/8(火)	5
9	そうめん流しボランティア (大見地区社会福祉協議会)	7/28(金)	7

10	夏休み宿題大作戦宿題カフェ (三豊地区まるみプラン実行委員会)	7/26(水)	6
11	夏休み宿題大作戦宿題カフェ (三豊地区まるみプラン実行委員会)	8/2(水)	4
12	こどもの居場所ボランティア・夏祭り (たくまこども食堂はびねすカフェ)	8/20(日)	5
13	こどもの居場所ボランティア・すまいる●はうす (すまいる●はうす)	8/12(土)	5
14	こどもの居場所ボランティア・ひまわりるーむ(NPO 法人ひまわり)	7/31(月)	3
15	こどもの居場所ボランティア・こどもサニーハウス (NPO 法人子育て応援 NPO フレンズ)	7/25(火)	5
16	こどもの居場所ボランティア・青空ハウス (NPO 法人青空クラブ)	8/5(土)	中止
17	こどもの居場所ボランティア・みんな食堂 (NPO 法人しあわせごはん食の力)	8/19(土)	7
18	こどもの居場所ボランティア・まんまのもり (まんまのもり)	8/6(日)	5
19	こどもの居場所ボランティア・ふれあい食堂 (NPO 法人日和)	8/27(日)	4
20	豊中読み聞かせボランティア (お話ボランティア夢ふうせん)	8/2(水)	1
21	豊中読み聞かせボランティア (お話ボランティア夢ふうせん)	8/23(水)	2
22	ふれあい広場ボランティア (豊中町愛育会)	8/10(木)	3
23	音声訳ボランティア (みとよ音声訳の会「ぽかぽか」)	7/29(土)	5
24	点字訳ボランティア (点字サークルアイ・みとよ)	8/3(木)	5

<ふくしセミナー>

開催日	会場名	内 容	講 師	参加人数
11 月 26 日	三野町保健 センター	災害ボランティア講座 ～写真洗浄～	真備町写真洗浄ボランティア @あらいぐま岡山 福井 圭一 氏	9 名
12 月 11 日	市民交流 センター	発達障がい児(者)の地 域における自立支援に ついて	香川県発達障害者支援センター 「アルプスカがわ」 新井 隆俊 氏	27 名 (自発的 活動支援 研修と合 同開催)

2月10日	市民交流センター	デジタル終活～デジタル遺品・デジタル資産って？～	NPO シニアネットかがわ 高岡 信男 氏	19名
-------	----------	--------------------------	--------------------------	-----

＜ボランティア活動保険加入状況＞

※（ ）内は前年度末

保険の種類	加入団体数・件数	加入人数
ボランティア活動保険	102 団体 (73)	1,647 (1,700)
	個人加入	6 (6)
行事用保険	105 件 (82)	5,356 (4,753)

（２）福祉普及啓発事業 事業費 2,033,532円

① 福祉普及推進校（園）指定事業

三豊市内の幼稚園児及び小学校児童や中学校生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とする取り組みに対し、要綱に基づき助成金を交付した。

なお、今年度より対象区分として市内高等学校を追加した。

＜助成状況＞

区 分	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	14 園	420,000	各種団体との交流（餅つき大会、タケノコ堀り他）、地域の方々や未就園児へプレゼント等
小学校	17 校	830,000	保幼小連携活動、高齢者福祉施設訪問（プレゼント持参のみ他）、草刈ボランティア等
中学校	5 校	210,000	施設訪問（プランター、マスク寄贈他）、入場者を限定したミニコンサート等
高等学校	2 校	100,000	保育所園児との科学体験交流会、デイケア利用者との物づくり交流
合計	14 園 24 校	1,560,000	上限額：園 30,000 円/小・中・高 50,000 円

② 福祉体験学習への支援（対象：市内小学校の主に５・６年生、中学生等）

子どもたちの福祉教育の一環として、主に市内小学校５・６年生を対象に福祉体験を実施した。担当教員と事前打合せ（感染予防対策、体験をとおしたねらい、授業の進め方、体験後の福祉活動等についてのアドバイス等）を行った。

また、地域団体の依頼や様々な行事の際、町内小・中学生等を対象とした福祉体験学習を企画し、出前講座を行った。

<体験内容>

体験内容	学校名など	延回数	延人数
高齢者等疑似体験	比地、麻、山本、桑山、笠田、比地大、本山、下高瀬、吉津、詫間中、詫間小、曾保、財田、麻小学童、こども寺子屋(三野)	17	467
車イス体験	比地、山本、上高瀬、吉津、下高瀬、松崎、仁尾、曾保、麻小学童、こども寺子屋(三野)、おれんじドア「結」	11	306
視覚障がい体験 (アイマスク体験含む)	勝間、上高瀬、山本、下高瀬、仁尾、財田	7	181
認知症サポーター養成講座	勝間、麻、上高瀬、山本、桑山、笠田、比地大、本山、下高瀬、吉津、松崎、財田	13	302
合 計		48	1,256

※バリアフリーやユニバーサルデザインについては、各体験内容のすべてに含む。

③ ふくし川柳募集

川柳の創作と作品を通して、社会福祉の啓発・意識向上、福祉の大切さを広く伝えるため、「ふくし川柳」の作品を募集した。

総数 235 件の応募があり、入賞者には賞状と副賞を贈呈、三豊市社会福祉大会にて入賞作品を紹介するとともに、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載した。

<小・中学生の部>

応募総数	受賞内訳 (人)
215 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 5

<一般の部>

応募総数	受賞内訳 (人)
20 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 3

④ ファミリー写真コンテスト

家族や地域とのつながりを再確認し、絆を深めるきっかけ作りとしてファミリー写真コンテストを行った。

また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

なお、手軽に応募できるようメールでの申込みとし、70 件の応募があった。

作品は、社協広報紙「しちふく」やホームページに掲載するとともに公共施設にて展示した。

< 審査結果 >

応募総数	受賞内訳 (人)
70 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 17

(3) 居場所づくり推進事業 事業費 2, 6 4 7, 3 0 7 円

ふれあい・いきいきサロン活動は、高齢者だけでなく、障がいのある人や子育て中の保護者、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場(ふれあい・いきいきサロン)に対して助成金を交付し、活動を支援した。感染症予防対策として、時間短縮や内容を会食以外にするなど、工夫しながら新たな形で取り組んだサロンが多く、随時開催等についての相談対応を行った。

< 高齢者サロン >

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	32	2	615	5, 393	504, 000
山本	12	0	165	2, 395	236, 000
三野	7	△1	142	1, 485	137, 000
豊中	34	△3	415	4, 223	623, 000
詫間	11	△3	292	3, 438	271, 000
仁尾	14	0	144	2, 423	269, 000
財田	5	0	90	644	75, 000
計	115	△5	1, 863	20, 001	2, 115, 000

< 子育てサロン >

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
豊中	2	0	64	1, 220	80, 000

< 障害者サロン >

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	0	29	192	40, 000

< 毎日型サロン >

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	157	6, 798	100, 000
豊中	1	0	287	1, 521	100, 000
財田	1	0	41	1, 889	100, 000
計	3	0	485	10, 208	300, 000

＜サロン活動推進者研修会の開催状況＞

地区	内 容
高瀬	令和5年11月27日 みとよ未来創造館 「身近な火災予防～実際にあった火災事例をもとに～」 三観広域行政組合北消防署 津田 誠至氏 参加者：24人／参加サロン数 18
山本	令和6年2月8日 山本庁舎2階大会議室 「薬の正しい飲み方、使い方 薬の正しい知識とサプリメントについて」 観音寺・三豊薬剤師会 矢野 禎浩氏 参加者：20人／参加サロン数 11
三野	令和6年3月19日 三野町生涯学習センター 第1部 講演「在宅医療について～住み慣れた地域で暮らし続けるために～」 三豊総合病院 訪問看護ステーション 中川佐知氏 第2部 町内サロン世話人等による意見交換会/レクリエーション備品紹介 参加者：16人／参加サロン数 8
豊中	令和6年3月18日 市民交流センター 「認知症の理解と予防(軽レクリエーション含む)、認知症の疑いのある方への対応方法について等」 三豊市地域包括支援センター 参加者：45人／参加サロン数 29
詫間	令和6年3月1日 松崎コミュニティセンター 「デジタルについて」講座 デジタル推進員 多田氏、田尾氏 参加者：15人／参加サロン数 10
仁尾	令和6年3月21日 市民センター仁尾 「エンディングノートの書き方セミナー」 第一生命保険株式会社 福田氏 参加者：26人／参加サロン数 13
財田	令和5年11月22日 財田町パークゴルフ場 「健康とサロン参加者同士の交流会」パークゴルフで体力づくりをしながら地域のサロンに参加している人たちの意見会 参加者：22人／参加サロン数 3

(4) 広報啓発事業 事業費 1,901,707円

広報紙を年4回発行し、地域住民への福祉活動の啓発や、サロン活動等の地域福祉活動の情報発信を行った。

また、ホームページ等を活用しタイムリーな本会事業情報、スケジュール等の内容を更新する等、情報提供に努め随時発信を行った。

<「しちふく」の発行状況>

発行月	頁数	主な内容
令和5年 4月	16	ふれあいいきいきサロン助成金や各種助成金案内、ボランティア保険案内、福祉体験学習、七福通信、赤い羽根共同募金関連 他
7月	12	令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画・予算、七福通信、第4期三豊市地域福祉活動計画(まるみプラン)、三豊市ボランティアセンター、フードバンク他
10月	12	夏のチャレンジボランティア講座2023、七福通信、ファミサポ写真コンテスト、赤い羽根共同募金のお願い、三豊市社会福祉大会案内 他
令和6年 1月	12	三豊市・香川県社会福祉大会報告、ふくし川柳、ファミリー写真コンテスト、福祉サービス援助事業(日常生活自立支援事業)、七福通信、三豊市こどもの居場所づくり事業、他

(5) 社会福祉大会開催事業 事業費 656,390円

「第18回三豊市社会福祉大会(令和5年11月11日開催)」は、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々をはじめ、三豊市社協に心温まるご寄附をいただいた個人・団体の皆さまへ感謝の意を込めて表彰状並びに感謝状を贈呈した。

また、ふくし川柳の受賞者も同時に発表した。

次に、映画「虹色はちみつ」の上映、続いて、トークセッション、意見交換を行った。

令和5年 7月 5日 令和5年度会長表彰候補者の推薦について(各種団体依頼)

9月 27日 第18回三豊市社会福祉大会実行委員会開催

受賞者の選考について・大会開催について

<第18回三豊市社会福祉大会の概要>

来場者数:約160人

開催日	主な内容	場 所
令和5年11月11日	・式典 (表彰) 社会福祉事業奉仕者 3名 社会福祉事業奉仕団体 1団体 (感謝) 社会福祉事業協助者 11名 社会福祉事業協助団体 8団体 (ふくし川柳受賞者) 小中学生の部 8名 一般の部 6名 ・映画上映 映画「虹色はちみつ」 ・トークセッション パネラー 合同会社K-works 梅木佳子 監督	みとよ 未来創造館

	NPO法人チャイルドハウスみとよ 田井 清 氏 三豊市子育て世代包括支援センターなないろ 原内佳加 氏	
--	---	--

(6) 災害対策推進事業 事業費 243,141円

① 職員訓練及び研修

災害発生時に迅速な対応ができるよう、職員研修及び訓練として、緊急連絡手段のツールであるインターネット回線を使った安否確認システムの運用や入力操作の確認や、行政と被災状況を想定したボランティアセンター設置運営訓練等を実施した。

また、「社会福祉協議会における事業継続計画(BCP)」を策定した。

<訓練状況>

開催日	内 容	参加人数
令和5年 8月28日	令和5年度災害ボランティア受入訓練 場所：三豊市役所危機管理センター3階 内容：災害ボランティアセンター設置要否の検討から支援活動までの手順とセンターを運営する三豊市社協と行政の連携要領について、図上訓練を実施。	9
9月25日	福祉避難所整備に向けての情報共有 場所：三豊市役所山本支所住民相談室 内容：災害発生時に円滑に福祉避難所が設置できるよう、福祉避難所設置マニュアルの作成等にむけた情報共有。	6
10月24日	三豊市社協災害時職員安否確認システム訓練 場所：三豊市社協各支所等 内容：グーグルフォームを利用した安否確認システムより、各職員メールアドレスへ安否確認回答フォームを一斉配信し、各自現在状況を返信することで状況把握を行う訓練を実施。	49
12月19日	社会福祉協議会における事業継続計画打合せ会 内容：災害備蓄品、名寄せ名簿の更新や要支援者台帳との連携、避難行動における同意書の作成等について検討。	4

<研修会・訓練等の参加>

開催日	会議名	開催場所等
令和5年7月7日	令和5年度社会福祉協議会における事業継続計画を考える研修会	県国際交流協会 アイパル香川 大会議室
10月22日	みの防災フェスタ2023・令和5年度三豊市地震災害対処訓練	三豊市立 吉津小学校
11月5日	令和5年度大見地区自主防災会防災訓練	三豊市立 大見小学校
11月5日	たくま防災フェスタ	三豊市立 詫間小学校

11月28日	令和5年度災害ボランティアセンター運営者養成訓練	県社会福祉総合センター
12月19日	令和5年度災害ボランティア基礎講座	県社会福祉総合センター
令和6年1月22日	令和5年度災害ボランティアに関する三者連携研修会	県薬剤師会館
1月27日	災害ボランティアセンター運営訓練への参加	総合教育センター体育館
1月27日	令和6年能登半島地震被災地社協と支援者からの現地状況報告会について	オンライン会議
2月5日	令和5年度市町村社協BCP視察研修	オンライン会議
2月15日	令和5年度県内社協災害対応担当者の連絡会	県社会福祉総合センター

② その他

防災の意識の向上や災害ボランティアについて広く知ってもらえるよう、高校生向けの災害ボランティア講座として写真洗浄体験を実施した。また、災害発生時には連携・協働が求められることから、三豊ライオンズクラブと「災害ボランティアセンター運営支援に関する協定」を締結した。

能登半島地震による災害ボランティアセンター応援職員派遣の要請を受け、石川県志賀町に2名の職員派遣を行った。

開催日	内 容
令和5年8月9日	高校生向け災害ボランティア講座 ～写真洗浄ボランティアを体験してみよう～
11月24日	三豊ライオンズクラブ 「三豊市災害ボランティアセンターの運営支援に関する協定書」 調印式
令和6年3月20日 ～3月26日	令和6年度能登半島地震災害ボランティアセンター応援職員派遣

(7) まるみプラン推進事業 事業費 1,311,195円

① 第4期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）の推進

第4期計画を実践するため、様々な地域福祉ニーズに適切な対応をした。また、各地区（旧町）の地域福祉活動計画（まるみプラン）実行委員会や地区社協等が主体となり、活動の見直しや更なる取り組みを実施した。

●基本目標1：“ひとづくり”では、福祉の心を育てる福祉教育の充実と啓発のため、出前講座や各種福祉体験や認知症サポーター養成講座を行い、福祉への関心と人権意識を高めた。また、新たなボランティアの育成として中高生向けボランティア体験講座の充実を図った。

●基本目標2：“しくみづくり”では、社協職員による社協電話相談を行い、相談受付の強化に努めた。ふれあい・いきいきサロンやこどもの居場所など、それぞれの分野で担い手や活動者同士のネットワークづくりができるよう、市と連携したこどもの居場所づくり

に係るネットワーク会議、交流会や研修会の開催を定期的に行った。さまざまな活動が活発にされていく中、賛同された地域住民や農家、企業等からの食材や物品の寄付など、応援の仕組みの輪が広がりをみせた。

●基本目標3：“きずなづくり”では地域の防災意識を高めるとともに、関係者同士がつながり合うことを目的に、自主防災組織や防災士等に向けた合同研修会を開催し、お互いの役割の相互理解や連携強化に努めた。

＜地区実行委員会等の開催・運営＞

地区	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
高瀬	開催事業に応じたボランティアスタッフ募集	まるみプロジェクト（プラットフォームとして）	事業 3	・地区社協を中心とした「まるみプロジェクト」として計画実施。全体会や各打ち合わせ会を経て、子育て支援ステーションと共同で「みーんな集まれ！秋まつり」（親子 70 名）の開催や高瀬町公民館主催の「遊びの館詰め」への参加、「高瀬健康ウォーキング」（参加者 66 名）を実施した。
山本	15	全体会 地区社協会 長会・役員 会等	2 1	・「宝山湖公園ウォーキング」開催（参加者 75 人） ・「お花見ウォーキング」開催（参加者 75 人） ・長寿会行事への協賛
三野	15	全体会 事業	6 13	・「子育て 10 カ条」町内保・幼・小・中学校、各戸配布（啓発） ・町文化祭にて、まるみプラン実行委員会の活動展示 ・ゴミ持ち帰り運動促進（各体育祭、みのふれあい祭り等でのぼり設置） ・「夏休み宿題大作戦」小学生が宿題を持ち寄り中高生ボランティアと一緒に取り組んだ。（参加者 小学生 16 人、中高生ボランティア 10 人、2 日間） ・「外国料理教室」（ミャンマー技能実習生 7 人、一般 16 人）、「男性料理教室」（19 人）、「多文化交流会」（80 人/外国人 16 人、小学生 29 人、一般 35 人） ・「そうめん流し（幼稚園）」、「防災チャレンジ教室」「高齢者配食見守り」「赤い羽根共同募金街頭募金」など中高生ボランティアを募集した。 ・「みのふるさと再発見ウォーキング」開催（参加者 89 人） 以上の地域交流活動等を行った。

豊中	26	全体会 リーダー会 集いの場検 討部会 事業	2 4 2 2	・「豊中まるみウォーキング」は荒天の 為、中止。 ・豊中町文化展にて活動パネル展示。 ・豊中こども広場開催。 以上の行事により地域住民交流が図 れた。
詫間	9	全体会等 事業	会議 4 事業 1	新しい生活様式に沿った「たくま分散 ウォーキング」の開催。詫間町の主要 か所(松崎・詫間・大浜・箱浦)に分散 し、各自時間内に自由なコースを設定 しウォーキングを行った。 栗島・志々島は同日に独自の方法で実 施。参加者はスタッフ含め 340 人で、 ウォーキングのきっかけ作り、自分の 住む地区の再発見や交流活動等に効 果があった。
仁尾	16	事業	14	福祉ポスター募集・掲示及び見守り活 動支援(地区社協共催事業)、ふれあい いきいきサロン備品整備事業等。 また公民館との共催で男の手料理、レ ディースキッチン、親子料理教室の開 催、タケノコ堀体験、ポーセラー教室 の実施。
財田	31	全体会 打合せ会 事業	3 2 5	高齢者世帯を対象とした「おはぎ・弁 当配食サービス」を実施。また、90 歳 以上の方を対象に、小学校高学年の児 童より年賀状の交流活動を行った。 地区社協を中心とした「パフォーマン スシアター(腹話術・大道芸)」はコロ ナ禍のため中止。 「宝山湖ウォーキング」の開催。

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・各地区地域福祉活動計画経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・各地区とも 150,000 円の助成金を原資に地域での活動を実施した。

(8) 地域我が事・丸ごと推進事業 事業費 295,882円

地域共生社会の実現に向けて、総合的に取り組むべきこととされており、この支援体制づくりに努めることで、制度・分野ごとの縦割りの関係を超え、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会の一助となるよう関係

会館等とも協力し取り組んだ。

また、困窮世帯への即時支援に活用する食材等を整備し、必要な世帯へ配布した。

（９）地域活動応援事業 事業費 ８８１，２７０円

分野を問わず、地域の中の困りごとをニーズキャッチし、地域共生社会のための居場所の立ち上げや、見守り等を行う事業の相談及び助成金による支援を行うことで活動の後押しができた。また、助成金活用等の相談を行うなか、各種団体との関係構築や地域の把握などに繋がった。

① 地域活動応援事業（小地域活動に対する助成金交付）

<交付状況：９団体>

(単位:円)

活動地域	活動内容	件 数	助成金額
山 本	居場所づくり	1	50,000
		1	50,000
三 野	配食サービス	1	50,000
	こども食堂	1	200,000
豊 中	啓発活動	1	50,000
	居場所づくり	1	50,000
	こども食堂	1	50,000
詫 間	ボランティア	1	50,000
財 田	居場所づくり	1	50,000
合 計		9	600,000

② 見守り活動助成事業（高齢者声かけ見守り活動に対する助成金交付）

<交付状況：６団体>

(単位:円)

活動地域	対象者数	助成金額
高 瀬	23	50,000
山 本	28	41,000
三 野	28	50,000
詫 間	23	50,000
豊 中	21	35,000
	15	50,000
合 計	138	276,000

4. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）事業費 5,846,586円

低所得・障がい・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。併せて、既借受人を対象とした債権の管理及び世帯の実態把握を行うため、県社協主催の相談会を年2回(11月20日・22日)実施した。

①生活福祉資金貸付事業

事業費 346,586円

＜相談・貸付状況＞

(単位:件/円)

資金種別	相談件数	貸付件数	県社協貸付金額
コロナ特例貸付（総合）貸付事業終了	31	0	0
コロナ特例貸付(緊急小口)貸付事業終了	129	0	0
福祉資金(福祉費)	8	0	0
福祉資金(緊急小口)	36	4	221,000
教育支援資金	56	3	1,688,400
その他	66	0	0
合 計	326	7	1,909,400

②生活福祉資金特例貸付事業

事業費 5,500,000円

コロナ禍による減収または失業された方に対する特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を利用された方の債権管理事務及びフォローアップ支援に取り組んだ。

＜令和6年3月末現在償還状況＞

(単位:件)

資金種別	貸付件数	償還中	免除件数	猶予中	相談中
コロナ特例貸付（緊急小口）	368	68	114	7	6
コロナ特例貸付(総合)	330	45	113	7	6
合 計	698	113	227	14	12

5. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（県社協受託事業）

事業費 12,474,880円

高齢や障がい等により判断能力が不十分で、日常生活を送るうえで必要なサービスを利用するための情報を入手したり、理解したり、判断したり、意思表示を自分だけでは適切に行うことが困難な方に対し、地域において自立した生活が送れるよう、必要な手続きの援助、公共料金の支払いや年金の受領確認、生活費の払戻などの日常的なお金の管理、通帳や年金証書などの書類の預かり等を本人との契約により支援を行った。

<相談・援助件数>

内 容	本事業の利用に関するもの・その他				合 計
対 象 者 事 項	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	0	0	0	0	0
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	13	4	1	3	21
c. 相談援助件数 (a・b 以外)	1,475	1,422	1,649	818	5,364
合 計	1,488	1,426	1,650	821	5,385

<利用者の状況>

(単位:人)

対 象 者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規契約者	8	1	0	0	9
契約終了者	5	1	0	2	8
令和5年度末利用者	14	16	14	7	51

(内:生活保護受給者9人)

① 専門員・生活支援員の活動について

専門員4人と生活支援員登録18人のうち15人が利用者に対し、訪問を行った。

<関係機関との会議・研修受講等>

開 催 日	会 議 名	開催場所
令和5年4月28日 7月27日 9月28日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	県社会福祉総合センター
令和5年5月22日 令和6年3月15日	生活支援員研修	県社会福祉総合センター 丸亀市保健福祉センター
令和5年7月1日	あんしんネット勉強会	県社会福祉総合センター
令和5年10月31日	相談技法研修会	県社会福祉総合センター
令和5年4月25日 10月24日	三観地域自立支援協議会	観音寺市役所
令和5年10月24日	三観地域障害者差別解消支援地域協議会	観音寺市役所

<研修会等>

開 催 日	内 容 等	開催場所	参加人数
令和5年10月11日	豊中地区民生委員・児童委員協議会 「成年後見制度について」	三豊市豊中庁舎	23名

6. 法人成年後見等事業 事業費 6, 0 1 2, 0 6 9 円

(1) 法人成年後見等事業 事業費 5, 8 6 5, 2 6 6 円

認知症高齢者、知的障がいのある人及び精神障がいのある人など判断能力が不十分な方に対し、裁判所より選任を受け、本人の判断能力や生活の実情に応じた身上監護及び財産管理を行った。ケースの内容によっては、弁護士と複数での受任を行っている。

なお、後見報酬(手数料)は裁判所が決定する。

<受任状況>

※年度末：受任件数 19 件

類 型	成年後見	保 佐	補 助	合 計	終 了
令和 4 年度までの件数	14	13	2	29	9
令和 5 年度の件数	1	0	0	1	2
令和 5 年度末利用件数	9	9	1	19	

<利用者の年代別>

年 齢	90 才代	80 才代	70 才代	60 才代	50 才代	40 才代
人数	3	8	2	4	1	1

(生活保護受給者なし)

① 三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

適正な業務を担保するため受任適否の判断や、後見業務の指導等を受けることを目的に法人成年後見事業検討委員会を設置している。

<委員会構成>

選 出 区 分	選出団体等
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
三豊市社協 役職員	三豊市社協 監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	一般社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
	三豊市介護保険課

<委員会>

開 催 日	内 容	開催場所
令和 6 年 3 月 12 日	新規受任ケース (1 件) について審議 令和 5 年度の活動報告について	三豊市豊中庁舎

<関係機関の会議・研修受講等>

開 催 日	会 議 名	開催場所等
令和 5 年 8 月 18 日	中核機関連絡会議	アイパル香川
令和 5 年 10 月 26 日	三豊市成年後見制度利用促進審議会	三豊市役所
令和 5 年 11 月 7 日	権利擁護セミナー	香川県薬剤師会

令和5年11月16日	権利擁護担当者会	アイパル香川
令和5年11月17日	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	Zoom オンライン
令和5年12月6日	受任者調整会議	三豊市役所
令和6年2月19日	成年後見制度利用促進研修会 (意思決定支援を考える)	県社会福祉総合センター
令和5年6月30日 11月15日 令和6年1月30日 3月26日	三豊市障害者福祉計画策定委員会	市危機管理センター

(2) 市民後見人養成支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 146,803円

市民後見人養成講座修了者(市民後見人候補者)10人に対して、フォローアップ研修(3回)と個別面談等(3回)を開催し、講師の提供する事例などをもとに、活動に向けたスキル習得に励んだほか、今後の活動への意向確認等の面談を行った。

また、研修とは別に、日常生活自立支援事業の生活支援員・法人後見支援員として実践を積んでいただけるよう、実践活動の場を提供し9人の活動を支援した。

これらを通して、地域における権利擁護支援の担い手養成と地域人材の活用につなげることができた。

<市民後見人養成フォローアップ研修>

開催日	内 容	講 師	受講人数
令和5年5月26日	どんな時に成年後見制度が必要か? ～事例を通して考えよう～	三豊市社会福祉協議会 職員	6
令和5年10月23日	香川県内の権利擁護支援の取組について	香川県社会福祉協議会 十河真子氏(社会福祉士)	4
令和6年1月23日	意思決定支援について	障害福祉サービス事業所 ええる 管理者 徳永 実氏 (社会福祉士・精神保健福祉士)	7

<個別面談と個別フォローアップ>

開催日	内 容	対象人数
令和5年7月28日 令和5年10月12日	個別面談 (今後の活動に向けた意向確認)	各1
令和5年8月29日	個別フォローアップ (今後の活動にあたる情報提供や活動予定の打合せ)	1

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 101,700円

香川おもいやりネットワーク事業は、社会福祉施設や民生委員・児童委員と三豊市社協が連携するネットワーク会議を開催し、情報交換や課題の共有を図るなど、支援を必要とする方に「地域全体で支援する仕組み」をつくり、「福祉でまちづくり」を目指し取り組んだ。

相談者 37 人に対し、継続的相談とフードバンクや寄付物品等の活用により支援を行い、状況により生活福祉資金貸付制度や生活困窮者自立支援相談など、必要な制度や支援に繋がった。

<ネットワーク会議開催状況>

開催日	内 容	場 所	参加人数
令和5年10月10日	情報提供・意見交換	山本庁舎2階大会議室	12

8. 生活困窮者自立支援事業（三豊市受託事業） 事業費 13,689,010円

（1）生活困窮者自立相談支援事業 事業費 6,591,889円

生活困窮者自立支援法(平成25年法律第105号)に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にあり、将来的に生活困窮に陥るリスクのある者に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行った。

<相談・援助件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	2	5	0	2	1	2	1	3	1	4	0	0	21
相談援助件数	86	89	109	106	93	79	85	101	53	169	161	109	1,240
合計	88	94	109	108	94	81	86	104	54	173	161	109	1,261

<関係機関との会議・研修受講等>

開催日	会 議 名	開催場所等
令和5年4月28日 7月27日 9月28日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	県社会福祉総合センター
令和5年7月21日 10月25日 令和6年2月6日	三豊市ひきこもり家族教室 マーガレットの会	豊中町農村環境改善センター
令和5年10月8日	強迫症啓発週間イベント講演会	本会（オンライン）
令和5年10月13日	三豊市発達障害等支援連携会議 (実務者会議)	市危機管理センター
令和5年8月2日	三豊市ひきこもり支援対策協議会	市危機管理センター

令和5年11月1日	三豊市ひきこもり支援対策協議会研修会	〃
令和5年6月23日 12月4日 令和6年2月28日	三豊市自殺対策協議会策定委員会 〃 〃	みとよ未来創造館 西館大会議室 みとよ未来創造館
令和6年1月11日 ～1月12日	生活困窮者自立支援制度における 中国・四国ブロック別研修	高松センタービル

(2) 子どもの学習支援事業 事業費 3,925,121円

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に対して基礎学力の向上や学習の場所・機会の提供などを通じて、高等学校への進学を支援することで、子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止することを目的に開催した。

なお、今年度より中学校全学年を対象とした。

○ 学習支援教室実施期間及び実施時間、場所

令和5年7月29日～令和6年2月24日 毎週土曜日 午前9時～12時

豊中町農村環境改善センター、市民交流センター、豊中庁舎

○ 参加者

生徒：中学3年生13人・2年生4人・1年生9人

学習支援員：11人

学生スタッフ：12人

＜生徒内訳＞

中学校	高瀬	三豊	三野津	豊中	詫間	仁尾	和光	合計
3年生	3	1	4	2	3	0	0	13
2年生	2	0	0	1	1	0	0	4
1年生	3	1	1	2	1	1	0	9

＜開催数＞

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
開催数	1	4	5	4	4	4	4	4	30

＜参加者数＞

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
生徒	17	64	71	41	48	56	44	44	385
学習支援員	9	26	32	21	24	25	23	26	186
学生スタッフ	7	28	43	23	21	28	30	32	212
合 計	33	118	146	85	93	109	97	102	783

(3) 家計改善支援事業 事業費 1,176,000円

生活困窮者自立支援法に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にある者に、家計表等のツールを活用し、生活困窮者の属する世帯全体の家計収支等を評価・分析(アセスメント)状況に応じた家計再生計画を作成するとともに、対象者の家計改善の意欲を高めることを目的に実施した。

<相談・援助件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	4
相談援助件数	10	26	17	12	18	31	18	13	12	16	22	19	63
合 計	10	26	17	12	19	31	18	16	12	16	22	19	67

<関係機関との会議・研修受講等>

開 催 日	会 議 名	開催場所
令和5年10月11日	生福・困窮・日自担当者会	県社会福祉総合センター中会議室
令和5年9月～11月 (随時)	家計改善支援事業従事者養成研修 (オンデマンド配信)	本会(オンライン)
令和5年10月16日 10月17日	令和5年度家計改善支援事業従事者 養成研修(ライブ配信)	本会(オンライン)
令和6年1月11日 ～1月12日	生活困窮者自立支援制度における中 国・四国ブロック別研修	高松センタービル

(4) 就労準備支援事業 事業費 1,996,000円

就労に必要な実践的な知識や技能等が不足しているだけではなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対し、計画的かつ一貫して支援を実施した。

<申請・支援件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
申請件数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
支援件数	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	35

<関係機関との会議・研修受講等>

開 催 日	会 議 名	開催場所
令和5年1月12日	生活困窮者自立支援員研修	高松センタービル12階

9. ファミリー・サポート・センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 11,960,680円

(1) ファミリー・サポート・センター事業 事業費 9,945,901円

① 会員数及び活動件数

子育て支援センター等への出張登録にて新規登録はあるものの、対象年齢から外れる子どもの増加や、まかせて会員の高齢化等による退会など昨年度より会員数が減少となった。

<会員数>

(単位:人)

会員種別	本年度	前年度	増 減
提供（まかせて）会員	282	287	△ 5
依頼（おねがい）会員	707	732	△25
両方会員	26	30	△ 4
合 計	1,015	1,049	△34

<活動実績>

(単位:件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	536	872
② 放課後児童クラブまでの送迎、終了後の預かり	368	253
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	22	124
④ 小学校までの送迎	11	8
⑤ 保護者等の外出の場合の援助	42	28
⑥ 習い事等の送迎	424	349
⑦ 自宅までの送迎	431	763
⑧ 一時預かり施設の送迎	95	0
⑨ その他	93	45
・ 母親（おねがい会員）宅での預かり・母親同伴の預かり	(0)	(9)
・ 保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(9)	(5)
・ 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(10)	(23)
・ 保護者の病気時・習い事等の場合、保育所入所前の援助	(0)	(1)
・ その他急用の場合の援助・保護者自宅以外への送迎	(74)	(7)
合 計	2,022	2,442

② 会員に対して相互援助に必要な講習会の開催

(ア) まかせて会員養成講座を年1回開催し、少人数の参加ながらも新規まかせて会員の登録につながった。

<まかせて会員養成講座>

開 催 日	内 容	開催場所	受講人数
令和5年10月4日	①子育てをめぐる状況とファミサポ事業の説明 ②子どもの世話・三豊市の母子保健事業 ③発達障がいへの理解と家族の支援	豊中町保健センター	16
10月5日	④子どもの遊び ⑤AEDと心肺蘇生法 ⑥子どものケガ～予防・応急処置～		17
10月18日	⑦保護者とのコミュニケーション ⑧子どもの発達とその課題		8

10月19日	⑨子どもの栄養と食生活 ⑩子どもの虐待と子育て支援者の役割 ⑪保育の心		14
10月25日	⑫小児看護の基礎知識 ⑬子どもの発育と病気 ⑭手引きの説明/活動紹介		4

(イ) 会員のスキルアップのためフォローアップ講習会を開催した。

<フォローアップ講習会>

開催日	内 容	開催場所	受講人数
令和5年7月11日	AEDと心肺蘇生法(1回目)	豊中町保健センター	12
令和5年11月21日	発達の気になる子どもへのかかわり方		22
令和6年2月27日	AEDと心肺蘇生法(2回目)		7

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員相互の連携と親睦を図るため、毎年、交流会を行っている。感染症予防対策を行い工夫しながら交流会等を開催した。また、新たな取り組みとしてファミサポ利用につなげるため、ショッピングストアの協力のもと無料お試し体験を実施した。

<交流会>

開催日	内 容	開催場所	参加人数
令和5年7月26日	リフレッシュヨガ	三野町保健センター	9
10月21日	ファミサポお試し無料体験	ゆめタウン三豊	17
12月2日	クリスマス交流会	三野町保健センター	34

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場等との情報交換を行い、よりよい支援になるよう連携強化を図った。

(イ) 県内の関連機関(県・他センター)との連携をとり、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。また、県内ファミサポ連絡会に参加し(リモート開催含む)、コロナ禍においてファミサポの援助活動や会員を増やすための方法など、今後の参考になった。

<県内ファミサポ連絡会>

開催日	内 容	開催場所
令和5年8月30日	ヤングケアラーについて	東かがわ市交流プラザ
令和6年2月29日	グループ討議	志度社会福祉センター

(ウ) 今年度も感染予防のため、会場開催とオンラインでの全国アドバイザー研修会となった。

＜全国アドバイザー研修会＞

開催日	内 容	開催場所
令和 5 年 10 月 13 日	ファミリー・サポート・センター事業の課題 解決における周知の重要性～令和 4 年度調査 研究事業 調査結果報告を踏まえて考える～	オンライン

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年 3 回発行、各施設等に配布し活動状況や会員数・イベント情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。

広報「みとよ」・社協だより「しちふく」から定期的に情報を掲載することで、地域への情報発信と会員増強に努めた。

子育て世代に向け、LINE 公式アカウントを設定、周知するとともに登録を促した。

発行物	ファミリー・サポート・センターチラシ ファミサポ通信(年 3 回発行) まかせて会員養成講座チラシ 子育てホームヘルプチラシ (広報「みとよ」・社協だより「しちふく」)
-----	--

(2) 子育てホームヘルプ事業 事業費 1, 7 4 9, 7 7 9 円

ホームページや社協広報紙への掲載以外にも離乳食講習会等でチラシを配布し、事業周知に努めた。また、出産直後で登録に来られない利用者の場合は、アドバイザーが直接出向き、相談に応じ出張登録を行った。

子どもが生後 6 か月からは、ファミリー・サポート・センター事業と並行して利用でき、ニーズによって選べるようになっている。活動実績として、依頼人数に変化はないが、前年度対比で 104%の増加となり、特に食事関係が大幅に増加した。

＜利用者・子育てホームヘルパー数＞

登録会員数	利用者	90	(依頼人数 24)	人数計 140
	子育てホームヘルパー	50	(派遣人数 14)	

＜活動件数＞

活動実績	相互援助活動の取組内容		活動件数
	① 食事関係（調理全般）		106
	② 子どもの世話（子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ）		103
	③ 受診・参観・上の子の病院受診付添		7
	④ 掃除（洗濯・風呂掃除・トイレ掃除）		86
	合 計		302

＜子育てホームヘルパー・フォローアップ講習会＞

開催日	内 容	開催場所	受講人数
令和 6 年 2 月 27 日	AED と心肺蘇生法	豊中町保健センター	7

(3) 養育支援訪問事業 事業費 265,000円

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した「養育支援が必要である家庭」に対し、訪問サービスを実施し、養育に関する相談や必要な支援を行った。また、必要に応じて市保健師と情報共有を行うとともに支援方針等の協議を行った。

＜派遣回数等＞

派遣回数	時間数	延利用者数
93	132.5時間	12

10. 居宅介護支援事業 事業費 31,374,462円

介護支援専門員 5 人（常勤換算 4.3 人）が要介護状態にある高齢者（介護予防等支援含む）に対し、適正な居宅介護支援を提供した。

① 要介護ケアプラン業務

○延人数 1,440 人（前年度 1,698 人）前年度対比 84.8%

プラン料 要介護 1、2 = 10,760 円

要介護 3～5 = 13,980 円

※特定事業所加算Ⅱ（1 件につき 4,070 円加算）

＜介護度別内訳＞

（単位：人）

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
666	428	130	171	45	1,440

＜月別ケアプラン作成件数＞

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	130	130	129	125	124	125	124	116	112	110	109	106	1,440
内初回加算	3	3	2	1	2	5	3	3	0	1	5	5	33

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 （三豊市受託事業）

要支援 1、2 及び事業対象者

○延人数 167 人（前年度 263 人）前年度末対比 63.4%

受託金 1,625,511 円

プラン料 3,942 円/件

初回加算（新規）3,000 円/件・委託連携加算（初回のみ）3,000 円/件

＜月別予防プラン作成件数＞

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	18	17	16	15	14	13	13	13	13	12	12	11	167
内新規対象者	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	4

居宅介護支援事業所の資質向上を目指し、ケアマネ会議(事業所内)を週1回開催し、議題に基づき共有連携を図ったほか、県や市、専門職団体が実施する研修会に参加する等スキルを磨いた。なお、感染症予防対策により研修会は参加人数の制限や、オンラインでの開催となった。

<介護支援専門員研修>

開催日	参加者	研修内容
令和5年 4月	全員	ケアマネ会議(5、12、19、26日)
5月	全員	ケアマネ会議(10、17、24、31日)
6月 2日 16日	全員 3	ケアマネ会議(7、14、21、28日) 第1回介護支援専門員研修会(警報発令により中止、後日資料配布) トーカー Web セミナー「高齢者虐待防止の推進について」(オンライン)
7月 6日	全員 1	ケアマネ会議(5、12、19、28日) 在宅医療介護連携勉強会「看護小規模多機能型居宅介護について」 「市内の訪問看護ステーションについて」
8月 17日 25日	全員 1 4	ケアマネ会議(2、9、16、23、30日) 主任介護支援専門員連絡会「ひきこもりの理解と支援について」 トーカー Web セミナー「BCP 運用セミナー」
9月 7日	全員 1	ケアマネ会議(7、14、21、28日) 在宅医療介護連携勉強会「皮膚科でよく使われる薬について」
10月 30日～ 11月20日	全員 1	ケアマネ会議(5、12、19、26日) 福祉サービス苦情対応研修会(オンライン)
11月	全員	ケアマネ会議(1、15、22、29日)
12月 14日	全員 2	ケアマネ会議(6、13、20、27日) 他事業所との事例検討会
令和6年 1月 11日 18日 19日	全員 1 1 2	ケアマネ会議(10、17、24、31日) 在宅医療介護連携勉強会「難病対策について」 BCP 策定支援セミナー「実効性のある BCP・ワークショップ」 介護支援専門員研修会「三豊市の防災対策について」
2月 16日	全員 4	ケアマネ会議(7、14、21、28日) トーカー Web セミナー「介護現場におけるカスハラに負けない福祉事業所の作り方」
3月 7日 15日	全員 1 1	ケアマネ会議(6、13、27日) 在宅医療介護連携勉強会「認知症との向き合い方」 介護支援専門員研修会・事例検討会

※その他、主任介護支援専門員研修(1人受講)

11. 訪問介護事業 事業費 60,061,186円

(1) 訪問介護事業 事業費 36,232,358円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。

介護保険・障害福祉サービス事業所のサービス提供責任者5人が、訪問計画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を目指し支援を行った。

<介護度別利用人数>

(単位:人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
42	15	4	3	0	64

<月別利用人数>

前年度末 709 人 対前年比 105.6%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	66	61	61	60	58	57	66	65	64	62	65	64	749

<月別利用延人数>

前年度末 9,544 人 対前年比 93.5%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	857	853	838	757	724	671	796	724	701	618	667	724	8,930

(2) 生活支援訪問事業 事業費 23,051,116円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、その心身状況や環境状況に応じた適切な訪問サービスを実施した。

<対象別人数>

(単位:人)

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
5	23	44	72

※予防サービス利用者は、訪問サービス(Ⅰ)～(Ⅲ)を選択できる。

訪問型独自サービスⅠ…週1回程度の利用 1,176/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅡ…週2回程度の利用 2,349/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅢ…週2回以上の利用 3,727/単位(1単位:10円)

(実績に伴う1回単位での収入)

<月別利用人数>

前年度末 940 人 対前年比 97.8%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	84	84	81	80	77	76	74	73	73	71	74	73	920

<月別利用延人数>

前年度末 6,191 人 対前年比 100.1%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	526	591	562	530	514	509	548	507	492	452	482	485	6,198

(3) その他訪問事業 事業費 777,712円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

ひとり暮らし高齢者への訪問事業(原則、週1回1時間程度)は、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関と緊密に連絡調整を行い、要介護状態の進行予防を実施するもの。

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
0回	0時間(0時間)	0人	0%

※令和5年度利用なし。

② 養育支援訪問事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した「養育支援が必要である家庭」に対し、訪問サービスを実施し、養育に関する相談や必要な支援を行った。

三豊市から、2世帯(3か月間)の依頼があった。

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
31	31時間(13時間)	6	238.4%

③ 支援サービス事業

介護保険事業外の訪問サービスを全額利用者負担で提供した。(対象者2人)

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問する登録ヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービス向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修会に参加した。他の事業同様、対外的な研修は中止や回数を減らすなど参加人数を制限しての開催となった。

<訪問介護事業(障がい含む)における研修会及びカンファレンスの開催状況>

開催日	人数	研修内容
令和5年	4月12日	13 ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)「研修:BCPについて」
	4月14日	16 ヘルパーミーティング(高瀬地区)「研修:BCPについて」
	5月1日	6 第1回感染症予防及びまん延防止委員会
	8日	31 新型コロナ感染対策(文書にて周知)
	24日	6 ヘルパーミーティング(財田・山本地区)「研修:プライバシー保護」
	6月21日	13 ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)
		「研修:食中毒予防3原則・プライバシー保護」
	23日	10 ヘルパーミーティング(高瀬・山本地区)
		「研修:食中毒予防3原則・プライバシー保護」
	26日	14 //
	7月4日	31 金銭管理について(文章での周知)
		5 第1回身体拘束・虐待防止委員会
	7日	1 BCP研修会

	9 日	6	第 2 回感染症予防及びまん延防止委員会
	10 日	31	虐待防止/身体拘束について（文章にて周知）
	21 日	1	対人援助技術専門研修会
	28 日	1	介護技術特別研修会「介護現場の利用者の権利擁護について」
	8 月 15 日	6	交通安全セミナー研修
	9 日	1	リスクマネジメント研修
	22 日	2	「医療知識に関する研修」
	9 月 14 日	2	「リーダーシップ・コミュニケーション力研修」
	19 日	2	「リーダーシップ・コミュニケーション力研修」
	22 日	17	ヘルパーミーティング（高瀬・財田地区） 「研修：介護事故その後を考える・記録の書き方」
	10 月 18 日	18	ヘルパーミーティング（仁尾・詫間・財田地区） 「研修：介護事故その後を考える・記録の書き方」
	18 日	5	第 2 回身体拘束・虐待防止委員会
	11 月 7 日	1	福祉サービス苦情対応研修会
	10 日	6	第 3 回感染症予防及びまん延防止委員会
	15 日	14	ヘルパーミーティング（仁尾・詫間地区）「研修：共依存という視点で考える高齢者虐待・インフルエンザの感染を防ぐポイント」
	17 日	19	ヘルパーミーティング（仁尾・詫間地区）「研修：共依存という視点で考える高齢者虐待・インフルエンザの感染を防ぐポイント」
令和 6 年	1 月 10 日	1	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）
	11 日	2	訪問介護事業所のサービス提供責任者対象研修
	24 日	12	ヘルパーミーティング（仁尾・詫間地区） 「研修：利用者・家族からのハラスメント対策」
	25 日	1	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）
	19 日	2	訪問介護事業所のサービス提供責任者対象研修
	2 月 9 日	21	ヘルパーミーティング（高瀬・財田地区） 「研修：利用者・家族からのハラスメント対策」
	3 月 5 日	1	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）
	6 日	1	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）
	22 日	1	介護事業所集団指導
	29 日	1	障害事業所集団指導

12. 障害福祉サービス事業 事業費 11,260,478 円

身体障がい・知的障がい・精神障がい等のある人の日常生活を支援し、自立した生活を営むことができるようヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも実施した。

（１）障害福祉サービス事業（居宅介護） 事業費 9,053,799 円

（２）障害福祉サービス事業（行動援護） 事業費 2,206,679 円

＜区分別利用人数＞

(単位:人)

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
4	18	6	2	2	2	34

延利用者数 486 人(前年度末 479 人) 前年度末対比 101.4%

(内訳 居宅介護 444 人・行動援護 42 人) 給付費収入 7,147,138 円

＜月別利用人数＞

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	42	42	43	43	39	42	41	41	40	38	37	38	486

＜月別利用回数＞

前年度末 3,787 回 対前年比 103.8%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
居宅	335	340	337	331	334	323	321	317	297	258	256	272	3,934
行動	16	16	18	17	6	17	28	22	13	23	24	13	

13. 移動支援事業

(三豊市受託事業) 事業費 1,499,990 円

1 回あたりの費用	30 分まで	1,500 円
	1 時間まで	3,000 円
	以後 30 分につき	1,000 円

＜月別利用人数＞

前年度末 61 人 対前年比 81.9%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	4	4	4	5	4	4	5	4	4	5	4	3	50

＜月別利用回数＞

前年度末 420 回 対前年比 97.6%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	34	34	35	36	36	33	34	36	33	33	35	31	410

14. 高齢者デイサービスセンター事業

(三豊市受託事業)

事業費 53,207,666 円

三豊市財田町デイサービスセンターの運営を三豊市から受託し、各種のサービスを提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的に実施した。

サービス提供時間を、9 時 30 分から 15 時 30 分までの 6 時間となるよう見直し、サービスの向上と経営改善に努めた。

<活動内容>

時間帯	活動内容
8時40分～	職員が送迎車で自宅に迎え
9時30分～	健康チェック・入浴・手作業・昼食・機能訓練・レクリエーション・おやつ等
15時30分～	職員が送迎車で自宅に送る

<月別実施状況>

前年度利用延人数 4,811人 対前年比 96.1%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	20	20	21	20	20	20	21	20	20	19	19	20	240
月別利用者数	47	45	45	44	43	43	43	44	40	42	37	39	
利用延人数	428	408	415	415	410	405	410	371	362	317	321	361	4,623

※ 1日平均利用人数 19.2人

15. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業) 事業費 2,891,739円

総合事業(通所型サービスA事業)は、高齢者が要介護状態にならないように、レクリエーションや入浴など生活支援を行い、誰もが住みなれた地域での生活の継続するため「環の湯」にて週1回、水曜日に実施した。

※利用者負担額 1回 一律1,230円(昼食、『環の湯』入浴料含む)

<月別実施状況>

前年度利用延人数 433人 対前年比 104.8%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
月別利用者数	10	11	10	10	10	11	12	11	11	10	10	9	
利用延人数	36	40	35	36	35	38	43	41	42	33	40	35	454

※ 1日平均利用人数 9.5人

16. 高齢者生活福祉センター事業 (三豊市受託事業) 事業費 203,280円

三豊市財田町高齢者生活福祉センターは、高齢のため居宅において生活に不安のある者に対し、必要に応じ住居を提供する事業である。

生活援助員が行う事務のうち、平日の昼間において入居している1人からの各種相談及び助言や安否確認等を行った。なお、令和5年10月18日、利用者の退所に伴い事業終了となった。

17. 地域移動支援事業 事業費 20,498,919円

三豊市・ダイハツ工業㈱・三豊市社協が連携し、令和4年6月6日より開始した本事業は、各通所介護施設が単独で行う送迎業務を集約することで、施設職員の負担軽減を図り、人手不足が見込まれる介護施設を支援するもの。

令和 5 年度は事業拡大を図り、送迎人数は増加したものの、新しい施設の参画には至っていない。

<概要>

参加施設：2 法人 2 施設（豊中地域・財田地域）

参加人数：登録 90 人、送迎実績数 3,140 回

使用車両：10 台

運行体制：運転スタッフ 11 人、運営スタッフ 2 人

18. その他事業

（１）老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

三豊市老人クラブ連合会から主として会計事務を委託され、その他、各所への連絡調整、会議・委員会の開催、行事の開催等補助的運営支援を行った。また、行事の開催運営も補助的支援を行った。

<総会・理事会・女性委員会・部会>

実施期日	名 称	会 場	実施回数又は参加人数
5/19	総会	みとよ未来創造館	80 人
令和 5 年 4 月～ 令和 6 年 3 月	理事会	豊中庁舎 4 階健診ホール	12 回
〃	女性委員会	豊中庁舎相談室	4 回
〃	健康長寿部会	豊中庁舎セミナールーム	4 回
〃	広報部会	豊中庁舎相談室	2 回
〃	生涯学習部会	マリンウェーブプレイルーム	3 回

<町老連・地区老連等事業>

スポーツ大会の開催 （市老連助成事業）	各町老連で運動会・種別スポーツ大会等を開催 （参加人数延べ 1,262 人）
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 （チーム数：28/訪問延回数：2,174 回） （たまり場活動数：66 か所/参加延人数：12,357 人）
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施
地域の（子ども）見守り活動 と「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動展開 （クラブ数：18）（会員数：292 人）

<市老連主催事業>

名 称	期日	会 場	参 加 人 員	概 要
女性委員会主催 研修会	5/2	高瀬町一円 名所めぐり	36	市役所危機管理棟・議場見学 高瀬茶業組合茶業センター見学 ①お茶製造工場 ②高麗人参水耕栽培 ③買い物 爺神山（大師堂）講話
	7/10	市民交流センター	30	防災関係といきいきクラブ体操（DVD 使用） 家庭で出来る防災対策、手軽な防災対策実技
	R6 1/26	豊中町保健センター 調理室・ セミナールーム	31	調理実習 「骨粗しょう症予防メニュー」
生涯学習部会 研修会	6/16	みとよ未来創造 館大ホール	62	市長講演 「三豊市民の健康づくりについて等」
	10 月期	市内各所 （7 地区）	約 80	交通安全街頭キャンペーン
	12/8	さぬき市津田地区老人クラブ	22	先進地研修
	3 月期	市内各所 （7 地区）	約 80	交通安全街頭キャンペーン
健康長寿部会	6/3	比地小 第 2 グラウンド	152	第 7 回ペタンク大会
	10/27	緑ヶ丘総合運動 公園サッカー場	171	第 9 回 G・G 大会 （当番町：高瀬町）
単位クラブ活動 研修会	R6 1/17	財田町公民館	88	「活動報告」 ・川上明正クラブ ・入樋明正クラブ アトラクション ・鍬おどり ・尺八演奏「杉山至山ほか」
かがやきクラブ 三豊広報紙発行	3/15			各町老連、市老連の活動内容 など掲載 新規会員募集

<その他研修等参加>

名 称	期日	会 場	参 加 人 員	概 要
歯と口の 健康フェスタ	6/4	市民交流センター	12 名	三豊歯科医師会主催(参加者： 子ども 322 人、保護者 282 人)
中国・四国老人クラ ブリーダー研修会	7/6-7	山口県山口市	2 名	中国・四国ブロック老人クラブ リーダーが集い、日頃の活動成 果等をもちより討議と交流を 実施（市老連：本田理事参加、 県老連：藤川会長参加）
老人の日・老人週間 「社会奉仕の日」	9 月	それぞれ老人クラブで実施		
シニアスポーツ交流 大会(ペタンク)	9/28	坂出市 番の州公園	24 名	健康づくりや体力の保持・増 進、広域観でのスポーツ交流 (8 チーム参加)
シニアスポーツ交流 大会(GG)	10/19	高松市立東部 運動公園 第 1 サッカー場	27 名	健康づくりや体力の保持・増 進、広域観でのスポーツ交流
全国老人クラブ大会	11/8	全国老人クラブ 大会	1 名	全国老人クラブ連合会会長表 彰受賞 「しののめクラブ」 活動賞受賞 「松寿会(詫間町松崎)」 「長野明正クラブ(財田町)」
ぼちぼちクラブ 香川みんなの集い	11/18	レクザムホール	39 名	第 39 回香川県老人クラブ大会 表彰式典・事例発表
地域支え合い・リー ダー研修会	R6 3/7	県社会福祉総合 センター	14 名	事例発表・グループ協議

(2) 共同募金事業

地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするため共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制に努めた。

<一般募金>

(単位:円)

募金方法	目標額(A)	実績額(B)	比較増減(B)－(A)
戸 別 募 金	16,330,000	15,740,800	△589,200
街 頭 募 金	170,000	175,559	5,559

法人募金	3,330,000	3,281,732	△48,268
学校募金	487,000	451,242	△35,758
職域募金	1,100,000	1,086,500	△13,500
イベント募金	10,000	12,435	2,435
個人募金	43,000	41,212	△1,788
その他の募金	90,000	66,071	△23,929
合 計	21,560,000	20,855,551	△704,449

<街頭募金>

地 区	実 施 日	実施場所	参加人数
高 瀬	令和 5 年 10 月 3 日	マルヨシセンター高瀬店	9
	10 月 3 日	マルナカ高瀬店	11
山 本	10 月 20 日	マルナカ山本店	14
三 野	10 月 4 日	ピカソ三野店	13
豊 中	10 月 1 日	ゆめタウン三豊店 (オープニングセレモニー)	50
	10 月 3 日	マルナカ豊中店	5
詫 間	10 月 17 日	ピカソ浜田店	7
仁 尾	10 月 3 日	ショッピングストア今川	5
財 田	10 月 7 日	道の駅たからだの里物産館	9

<審査委員会>

開 催 日	内 容	結 果
令和 5 年 5 月 30 日	・令和 6 年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について ・令和 6 年度共同募金推進計画について	承認 承認
令和 6 年 2 月 13 日	・令和 5 年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について ・令和 5 年度募金結果について ・令和 6 年度事業共同募金地域助成計画(最終)について	報告 報告 承認

<運営委員会>

開 催 日	内 容	結 果
令和 5 年 6 月 13 日	・運営委員の選任について ・令和 4 年度共同募金収支決算について ・令和 6 年度事業共同募金地域助成計画統括表について ・令和 6 年度共同募金推進計画について	承認 承認 承認 承認
令和 6 年 3 月 21 日	・令和 5 年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について ・令和 5 年度募金結果について ・令和 6 年度事業共同募金地域助成計画（最終）について ・令和 6 年度三豊市共同募金委員会収支予算について	報告 報告 報告 承認

<会計監査>

開催日	主要付議事項	結果
令和5年5月25日	・令和4年度決算監査	認定

<令和4年度共同募金(令和5年度事業)地域助成事業> (単位:件/円)

助成先(事業執行者)	事業件数	事業名	助成金額
本会	9	居場所づくり推進事業、広報啓発事業、ボランティア活動推進事業、三豊市社会福祉大会開催事業、福祉普及啓発事業、災害対策推進事業、まるみプラン推進事業、地域我が事・丸ごと推進事業、地域活動応援事業	11,309,480
地区社協 自治会等	30	ひとり暮らし高齢者訪問事業、地域福祉交流活動事業、高齢者地域交流事業、防災対策参加実践事業、高齢者ふれあい会食事業等	2,799,000
福祉団体 ボランティア団体	63	地域の子育て応援事業、こども手話スクール事業、学習研修事業、点字絵本・展示カレンダー作成事業、更生保護推進事業、ふれあい友愛事業、子ども食堂事業、父母ヶ浜清掃活動と地域住民の交流等	4,235,000
合計	102		18,343,480

※助成申請 107 事業中、5 事業が中止となった。

(3) 子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、自分たちにできる育児の手伝いと、本会が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。

本会が事務局を務め、三豊市内での行政や各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。

また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。

コロナ禍による託児の減少は、子育て世代のイベントの再開等により託児依頼が増加している。

<託児活動>

行事名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	6	21	市子育て支援課

ファミサポ行事	7	27	みとよファミリー・サポート・センター
ニオノチルビレッジ行事	1	2	ニオノチルビレッジ
愛育会行事	2	5	三豊市愛育会
財田町公民館行事	1	1	財田町公民館

<自主行事>

開催日	活動内容	開催場所	参加人数
令和5年7月16日	研修会(ヨガ療法体験) 山原香織 氏	みとよ未来創造館	11
9月12日	研修会(やさしい俳句) 亀山祐美子 氏	豊中町保健センター	7
11月22日	視察研修 香川県防災センター他	高松市	14
12月21日	研修会(フラワーアレンジメント) 関 美保 氏	みとよ未来創造館	19
令和6年3月8日	研修会(料理教室) 則久育葉 氏	豊中町保健センター	16

(4) フードバンク (ものバンク) 事業

フードバンク事業は、年間を通して寄付いただいた玄米や食材等を業務用冷蔵冷凍庫、保冷庫及び精米機等を活用しながら、支援を必要とする方に「おもいやりネットワーク事業」や「生活困窮者自立支援事業」、「生活福祉資金貸付事業」と調整を図りながら地域で自立した生活を送ることができるよう、33件の相談及び支援を行った。

また、引越し等で生じた家電製品等の寄付により、食材以外の物品支援を必要世帯へ行った。

(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力

平成30年度より、活動目的に賛同し、地域の高齢者や障がいのある人・未成年者等の権利擁護推進のため、同法人の受任する後見人等（監督人を含む）の支援を行った。